会報 あおいろ

第83号

■発　行　No.83（平成25年1月4日）

一般社団法人　北那覇青色申告会
〒902-0068　沖縄県那覇市字真嘉比252-40
☎ (098) 886-4010 (代)　(098) 886-1205
E-mail　info@kitanaha-aoiro.net
ホームページ　http://www.kitanaha-aoiro.net

あなたのそばで
あなたを応援！

歩む新たな第一歩
創立30周年記念式典挙行！





法人会との合同祝賀会

謹賀新年



もくじ

2～3 年頭のあいさつ
4 創立30周年記念式典
5 30周年記念ゴルフ大会
6 決算準備説明会
7 青色教室
8 女性部視察研修
9 納貯組合ニュース

確定申告はお早めに！！



申告も納税も e-Taxで

年頭のあいさつ

創立三十周年を記念し更なる飛躍を!!



一般社団法人 北那覇青色申告会
会長　儀保宜裕

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様を始め、役員各位並びに税務当局や、関係市町村、関係諸団体各位の深いご理解とご協力のお陰で、本会の事業活動も円滑に運営することができましたことを、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は創立三十周年を記念し、更なる飛躍を目指し、多くの記念事業を実施してまいりました。記念式典・祝賀会は沖縄都ホテルにおいて、ご来賓各位ご臨席の下、会員多数の参加を得て、盛大に挙行されました。永年役員の献身的なご尽力と会員の皆様方の力強いご支援の賜と感謝申し上げると共に、創立三十周年記念ボウリング大会・記念ゴルフ大会・記念研修旅行と、多催な記念事業を実施し、お陰様で盛会裡に終了することが出来ました。これも偏に、役員を始め、会員の皆様のご支援ご協力の賜と感謝申し上げます。

また、新公益法人制度改革法に伴い「一般社団法人」として、沖縄県より平成二十四年四月一日付で認可をいただき、新たにスタートしております。

さて、税務当局がイータックス「国税電子申告・納税システム」を推進しているなか、平成二十三年分の確定申告は、青色申告会が開発した、短時間でイータックス（電子申告）が送信できるパソコン会計ソフト「新ブルーリターンA」を活用し、さらに、税理士会のご協力を得て、代理送信による電子申告の普及拡大に努め、順調に推移いたしました。本年度も前年同様イータックス（電子申告）の普及拡大を積極的に取り組んで参りますので宜しくお願い申し上げます。

本年度の確定申告期（平成二十五年一月一日～四月一日）は、北那覇税務署と那覇税務署の合同署外会場「浦添市産業振興センター・結の街」において、平成二十六年一月より記帳・帳簿等の対象者が拡大することから、税務当局は青色申告普及拡大を図るため、「青色申告手続コーナー」を設置し、取り組む予定をしております。このようなことから、本会においても、コーナーの充実を図り、新たな青色申告者の仲間を増やし、記帳指導を重点的に取り組み、納税者団体としての社会的責任を充分に発揮したいと思います。

確定申告期は会活動の総決算としてのメインイベントでもあり、青色申告普及拡大と、組織の活性化を図るためにも会員増強が重要でありますので、新規会員として、知人、友人、同業者をご紹介いただきますよう、役員を始め、会員の皆様にもご支援ご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様、いよいよ確定申告が始まります。平成二十四年分の確定申告は、「沖縄納税研修会館」が確定申告指導会場になりますので、お早めに来局くださいますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、会員の皆様のご健勝と、事業のますますのご繁栄を心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

e—Taxの普及拡大を!!



北那覇税務署
署長　土屋信賢

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人北那覇青色申告会会員の皆様方には、晴やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様方には、平素から税務行政全般にわたり深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

貴会におかれましては、昭和五十七年の発足以来、「自主申告・自主納税」を理念とする申告納税制度の趣旨に則り、会員及び青色申告者各層に対して、納税意識の高揚及び企業

あけまして おめでとうございます



会長	儀保宜裕
副会長	新本乗義
〃	桃原康一
〃	宮城太榮
〃	與那城博司
〃	宮城恵美子

創立三十一年の新たな年に向けて!!



沖縄税理士会北那覇支部
支部長　山入端　正　範

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人　北那覇青色申告会会員の皆様には輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、納税道義の高揚と申告納税制度の確立並びに地域中小企業者の事業の発展を図るため税務・経理・経営に関する指導・研修を開催し、青色申告制度の普及拡大に努めておりますことに深く敬意を表する次第であります。

さて、昨年は、世界的に景気が低迷するなか日本経済も世界的な株安と急速な円高及び長期におよぶデフレにより国内景気が停滞し、中小企業の経営は厳しい状況が続きました。しかし、沖縄総合事務局の「県内法人企業景気予測調査」によれば平成二十四年の七～九月期の景況判断指数は前期と比べ全産業でプラスとなり、本年一～三月期も上昇となる見通しとなっており、本年は景気回復の実感できる年になるものと期待しております。

このようななか昨年、一般社団法人　北那覇青色申告会が創立三十周年という記念すべき節目を迎えられ、十一月には多くのご来賓や会員が参加のもと創立三十周年記念式典が盛会に開催されました。心よりお喜び申し上げますとともに貴会の今後の更なる発展をご期待申し上げます。

私たち沖縄税理士会北那覇支部は、本年も「沖縄納税研修会館」を中心に行われる各種研修会や電子申告・電子納税の普及定着等の北那覇青色申告会の各種事業活動に積極的に協力し、青色申告会会員企業のご発展と繁栄に尽力してまいります。また、私たち税理士自身も真に国民から信頼される税理士制度を確保するため、税理士法を始めとした各種研修会を実施し綱紀の厳正な保持と、税の専門家としての知識の研鑽に努めてまいります。

結びにあたり、新しい年が一般社団法人　北那覇青色申告会並びに会員の皆様にとって実り豊かな発展の年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。

の健全な発展を目的とした事業活動を積極的に展開してこられました。昨年は記念すべき創立三十周年を迎え、現在では会員数約四千名を数えるなど、社会的にも確固たる団体に発展を遂げられていることに深く敬意を表する次第でございます。

さて、間もなく平成二十四年分の確定申告の時期を迎えますが、本年もe-Taxでの申告を推進することとしております。会員の皆様方におかれましては、所得税、消費税の申告と併せ、1月末提出期限の法定調書につきましても、e-Taxの積極的なご利用をお願いいたします。

また、期限内収納の確保、滞納の未然防止策として、振替納税制度の利用を積極的に推進しているところです。

ところで、平成二十六年一月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます。そのため、対象者への改正内容の周知・広報及び記帳等に関する指導等を行うことにより、制度の定着に努めてまいりたいと考えております。

こうした取組は、納税者の皆様のご理解とご協力があって、実を結ぶものと考えております。貴会並びに会員の皆様方には、これまでも税務行政のよき理解者として、また協力者として多大なるご支援を賜っておりますが、今後とも税務行政の円滑な運営になお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が一般社団法人北那覇青色申告会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご繁栄の年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

| | | |

(一社)北那覇青色申告会 創立30周年記念式典 開催！







那覇市
副市長 仲村 家治 氏



浦添市
市長 儀間 光男 氏



沖縄税理士会 北那覇支部
副支部長 福 直治 氏



北那覇税務署
署長 土屋 信賢 氏



(一社) 北那覇青色申告会
会長 儀保 宜裕 氏









（一社）北那覇青色申告会、創立三〇周年記念式典及び祝賀会が、十一月二〇日（火）、沖縄都ホテル「瑞雲の間」に於いて会員一二〇余名参加のもと、盛大に開催されました。

式典では、来賓に北那覇税務署 土屋信賢署長を始め、税務署幹部の方々、沖縄税理士会 福直治副支部長をお迎えし、桃原康一副会長の開会の辞で始まりました。儀保宜裕会長より「青色申告制度の創設に伴う全国の青色申告会結成、沖縄県における沖縄青色申告会の誕生、本会の旧青色申告会からの分離発足、平成七年の社団化までの歴史、また、本年度は、新公益法人制度改革法に伴い「一般社団法人」として、沖縄県より平成二十四年四月一日で認可を頂き、新たにスタートし、会創立以来念願でありました会館「沖縄納税研修会館」を、北那覇法人会と共同で平成二十三年十二月九日に取得することが出来ました。

会発展の原動力は、永年に亘る役職員の献身的なご尽力と、会員の皆様の力強いご支援ご協力、北那覇税務署、関係市町村、沖縄税理士会、関係友誼団体の皆様のご理解とご支援の賜であります。今後も納税道義の確立のために、一層の努力と、会員の皆様により貢献出来る会としての飛躍を目指し邁進して参ります。」と式辞が述べられた。

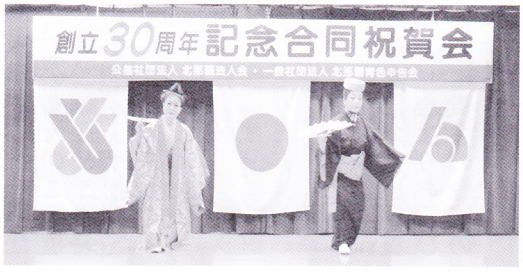
表彰式に於いては、本会にご尽力頂きました役員、永年会員、職員や功労者の方々が表彰されました。

来賓を代表して、土屋信賢署長、福直治副支部長より「今日の厳しい経済環境や制度改正に対して、青色申告会に対する社会的要請はますます高まっており、今後の会の発展に期待する次第であります」と祝辞を賜り、宮城太榮副会長の閉会の辞で終了となった。

引き続き「綾羽の間」に於いて、北那覇法人会との合同祝賀会が行われ、関係団体から多数の来賓のご臨席を賜り、盛会裡に終了となりました。



司会
幸地　優子 氏





不動産貸付業
桃原商事株式会社
代表取締役社長　桃　原　康　一
〒900-0016　沖縄県那覇市前島１丁目18番12号　ダイナスティービル802
電　話（098）861-2210　FAX（098）861-2835

創立30周年記念ゴルフ大会開催！



平成二十四年十一月六日（火）、創立三十周年記念事業の一環として沖縄カントリークラブにおいて、九組三十六名（沖縄中部会より四名、北那覇法人会より四名）参加の下、記念ゴルフ大会が開催されました。アウトは儀保宜裕会長、インは新本乗義副会長始球式の後、同時スタートし、スコアメイクに苦しみながらも全員が無事ホールアウトしました。

沖縄納税研修会館に場所を移動し、儀保会長より記念大会参加へのお礼の挨拶の後、沖縄中部青色申告会会長宜名真正勝氏からお祝いの言葉と乾杯の音頭をいただき、表彰式を行いました。

表彰入賞者は次のとおり

優勝	比嘉透	G	92	HC	24.5	N	67.5
準優勝	森克也	G	98	HC	29.2	N	68.8
三位	佐久間盛雄	G	86	HC	16.3	N	69.7
ラッキーセブン	宮城茂男	G	91	HC	18.7	N	72.3
ベストクロス	真栄城守清	G	81				
特別賞(三十位)	濱川正志	G	114	HC	36.0		



創立30周年記念研修旅行



創立三十周年を記念して、親睦と交流を目的に研修旅行を二泊三日の日程で実施しました。参加者二十名は初日、東京、衆議院憲政記念館、寅さん記念館を見学後、神宮外苑の百四十六本の銀杏の木が黄金色に葉を染め、三百メートルに渡り散策しました。

二日目はこの冬一番の寒さで沖縄にはない寒さを味わいながら首都高・東北道をバスは福島を目指しました。途中バスの景色は紅葉がとても綺麗でした、野口英世記念館、飯盛山（日虎隊）、会津鶴ケ城（国の史跡登録では若松城）を見学し、宿では温泉に入り癒されました。

三日目、福島県郡山市にある郡山青色申告会の会館へ向かいました。我が会と交流がある会で東日本大震災後の役職員の皆様を少しでも応援したいという思いで訪問致しました。日吉専務を始め、職員の皆さんが温かく迎えて下さり、短い時間ではありましたが、有意義な時間を共有する事が出来ました。その後被災地、塩屋崎灯台を見学し、いわき市平薄地区、新舞子海岸、久ノ浜など、がれきが未だ学校の校庭に高く積み上げられ被害の爪痕が残っている状況に胸が締め付けられる思いでした。自然の驚異に疑問すら感じました。

復興が早く進んでくれる事を願ってやみません。

それぞれが様々な思いを胸に常磐道、首都高経由で羽田空港から無事那覇空港へ帰ってきました。多くの役員さん同士の親睦が一層深まり、別れる空港では名残惜しく、大変有意義な研修の旅となった。





ときわ美容室

営業時間／AM9:30～PM7：00　定休日／毎週火曜日

〒903-0804　那覇市首里石嶺町4-9-1

TEL 885-6500・885-5314（FAX兼用）

各地域で決算準備説明会開催される!!





税理士
中村　利江　氏



税理士
添石　幸伸　氏



税理士
屋比久　功　氏

いよいよ決算の時期が近づいてまいりました。今年も誤りのない決算と申告をして頂くため、決算準備説明会を本島地区においては、中村利江税理士（不動産所得者）、添石幸伸税理士（那覇・浦添地区事業所得者）、屋比久功税理士（西原地区事業所得者）の先生方に講師を依頼し、離島地区については、担当職員で次のとおり開催致しました。

説明会は、平成二十四年度税制改正のうち個人事業者にかかわる主な改正内容について重点をおき、所得税と消費税の誤りやすいポイント、国税電子申告（イータックス）の仕組みや利用方法など実例を交えて説明がなされ、会員の皆様からも質疑の絶えない熱心な説明会でした。

最後に、会員の福利厚生の充実を図るための各種共済制度の説明及び平成二十四年分の申告に向けて早めに準備をして頂くよう呼びかけた。

12月6日～7日	阿嘉島離島総合センター
12月11日～12日	久米島町役場具志川庁舎
12月12日～13日	JA北大東村保護センター
12月19日	浦添市産業振興センター
〃	〃　（不動産）
12月20日～12月21日	座間味村離島総合センター
12月26日～12月27日	西原町立図書館
12月28日	阿波連生活館

「減価償却」説明会



去る十一月六日（木）、沖縄納税研修会館三階研修室にて、仲本専務理事を講師とした、減価償却説明会が開催されました。

減価償却とは、時間の経過に伴う、資産の価値の減少を、耐用年数によって各会計年に費用として配分することです。

講座の内容は、減価償却のしくみや、一括償却資産、少額減価償却資産、減価償却費の計算方法について説明をしていただきました。

講座中や、講座終了後にも多くの質問があり、大変関心の高い説明会となりました。

画像編集入門講座



去る十月二十四日（水）、沖縄納税研修会館三階研修室にて、画像編集入門講座を「あっぷす」代表の久保田和成氏を講師にお招きし、（公社）北那覇法人会と共催で開催致しました。

講座では、フリーソフトを使った画像編集を、あっぷすオリジナルテキストに沿って行い、画像のサイズ変更、明るさ・コントラストの調整、切り抜き、トリミングや特殊効果等の加工の方法を実習していただきました。

講座終了後には、「とても勉強になった。もっと実践的な内容についても学んでみたい」といった声が聞こえ、とても充実した講座となりました。

資金繰り



去る十二月四日浦添市社会福祉センター三階中研修室にて、税理士の上地正宏先生を講師にお招きし、「資金繰りと経営改善のポイント」の講習会が開催されました。

テキストにそって、資金繰りはなぜ大切か、利益と資金繰りの違いなどわかりやすくご説明頂きました。

印刷全般
西原印刷
■〒903-0112
■沖縄県西原町字我謝241-72
■tel 098-945-3475　■fax 098-945-3470

青色教室「第十二期生」修了式！


受講者記念撮影（午前コース）


受講者記念撮影（午後コース）

五月二十四日（木）の開講式よりスタートし、七ヶ月間を通して記帳の仕方から決算・申告までマスターすることを目的に、午前（事業所得者）と午後（不動産所得者）のコースを設け開催された青色教室「第十二期生」の修了式が、去る十一月八日（木）に、沖縄納税研修会館研修室に於いて行われました。

始めに講師の大城相談課長（午前）・宇栄原相談員（午後）より十六回の講座の総まとめをし、午前のコースは當眞嗣成事業広報委員長、午後のコースは仲本政祥専務理事より、受講者一人一人に修了証書を手渡し、激励の言葉を述べられました。

受講者の方々からは、「簿記はまったくの初心者で、授業についていけるかとっても不安でしたが、受講しているうちに、記帳の仕方や税に対しての知識を少しずつ理解でき勉強になった。ここで学んだことをしっかりと活用していきたいと思います。」など多数の声が聞かれました。最後に、長期間一緒に勉強し、交流を深めてきた受講者全員の記念撮影で、講座を締めくくった。

来年度も引き続き「青色教室（第十三期生）」を開講していきますので、事業を始めたばかりの方、実務未経験の方、現在の記帳方法が不安な方、青色申告特別控除六十五万円を活用したい方等、この機会にあなたもチャレンジしてみませんか。

（一社）北那覇青色申告会青年部

仲西小で「子供税金教室」開催



地域社会貢献活動および租税教育の一環で、小学生に税金の仕組みや使われ方を知ってもらおうと、（一社）北那覇青色申告会主催、同青年部（比嘉透部長）主管、北那覇税務署後援の「子供税金教室」を十一月十五日（木）に開催した。仲西小学校体育館で行われ、六年生児童ら百二十人が参加した。

始めに学校を代表して仲西起實校長先生にあいさつを頂き、主催者あいさつで比嘉透青年部長は「税を考える週間の一環として子供たちの皆さんにも税金って何だろうと知って頂きたい。生活品全てに税金がかかっていて、その税金で社会は成り立っている。そのことを身近に感じてもらいたい」と話した。

税金教室では、北那覇税務署 嘉手川潤氏が講師となり、税金がなくなったらどんな世界になるのかをアニメーションを使って分かりやすく説明し、税金の仕組みや役割、使われ方など詳しく解説された。次に青年部の中村利江会計が司会となり、「宝くじで一億円当たったら税金を払わなければいけないか？」など税金に関する○×形式のクイズが行われ、実際の紙幣と同じ紙でできた一億円分の札束が登場すると、児童らは興味深そうに持ち上げて「一億円」の重さを実感した。

税金教室終了後、児童代表あいさつで新城花菜さんは「小学生を学校に通わせる費用が、一人当たり年間八十四万円以上もかかっていて、そのほとんどを税金で賄っているとは知らなかった。大人になったらちゃんと払いたい」と感想を話し、子供たちの生活の中にも身近に関わっている税金の大切さを楽しく学んでいました。





曙小で「租税教室」開催



税金の役割や使われ方、重要性を伝えようと、「租税教室」を十二月四日（火）、那覇市立曙小学校で本会の大城相談課長が講師として授業を行いました。六年生五十九人が参加し、税金の意義や納税の大切さをアニメやクイズを通して学んで頂きました。

“くらしに安心をお届けする”
自動車保険・火災保険・傷害保険・積立保険
事故相談・その他損害保険全般
大同火災代理店
宮城保険事務所
浦添市伊祖3-5-11
☎(098)878-9464 FAX(098)878-5902

クリーニング専門店
スワンランドリー
本店
〒901-2127 浦添市屋富祖2-31-19
TEL・FAX(098)877-5097

久米島支部グランドゴルフ大会





去る十一月二十三日（金）久米島支部会員親睦グランドゴルフ大会が久米島ふれあい公園内にて法人会との共催で多数参加の下、開催されました。

秋空の涼しい風が吹く中、山里支部長より開会の挨拶が行われゲームがスタートしました。時折、歓声や笑い声が聞こえ、思い通りにいかないボールに一喜一憂しながら最後までゲームを楽しんでおりました。

ゲーム終了後、表彰式と併せて懇親会が行われ、ゲームの結果や反省、近況報告を交わすなど会員同士の親睦を深まり、楽しい一日となりました。

グランドゴルフ大会の表彰入賞者は次の通りです。

優　勝　宇江城　英昌（北那覇青色申告会）
準優勝　山　里　喬（北那覇青色申告会）
三　位　山　里　昌伸（北那覇青色申告会）

ゴルフ同好会



会員の親睦を目的に、青色申告会ゴルフコンペを偶数月の第四木曜日沖縄カントリークラブにおいて開催しております。ゴルフを通して交流を図りたい方、ゴルフが好きな方等、この機会に同好会に入会しませんか。

詳しくは事務局まで！

恒例となった青色会コンペ平成二十四年度の優勝者は次の方々です。

優勝者（平成二十四年度）

第六十九回	又吉　勉	G 88	HC 8.0	N 80.0
第七十回	翁長美津男	G 108	HC 29.0	N 79.0
第七十一回	吾郷　京子	G 96	HC 25.9	N 70.1
第七十二回	平尾　好子	G 87	HC 15.5	N 71.5
第七十三回	當眞　嗣成	G 94	HC 23.9	N 70.1
第七十四回	宮城　定昌	G 91	HC 20.0	N 71.1

平成24年度　北那覇会女性部
秋の視察研修





女性部の恒例行事となっております秋の視察研修が去る、十一月七日（水）部員二一名の参加の下、行われました。今回は、ローゼルの収穫にジャムとパンづくりを体験するため、南城市大里の「ハーブの里　みどり農園」へ伺いました。

農園の方にローゼルについて説明していただいた後、ルビー色に輝くローゼル畑で、思い思いに収穫を楽しんでおりました。

また、同じ畑でとれたローゼルを使ってジャムやパン作りを体験し、焦がさないようにジャムを混ぜる人、力強くパンをこねる人とグループ内で相談しながら懸命につくりあげ、出来上がったパンとジャムを全員で、囲んで食し、自然の心地よい景色ととても和やかな雰囲気の中で話も弾み、より親睦を深める事が出来、有意義な研修と成りました。





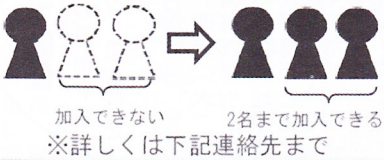
経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか？

年金だけでは不十分で、不安がある。
自分で積み増しするには、どんなものがあるのかな…



小規模企業共済制度

平成23年1月から、個人事業主の「共同経営者」も加入できます！
一事業主につき「2名」まで。



※詳しくは下記連絡先まで

1 加入し、掛金を毎月積み立てておけば…



2 将来、「廃業」「役員退任」等が生じたときに共済金をお受け取りいただけます。

3 現役引退後の安心した生活設計が図れます。

★掛金は全額所得控除の対象になります。（左図は掛金月額3万円の場合）

●共済制度の詳しい内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

共済制度のお申し込みは
一般社団法人　北那覇青色申告会
〒902-0068
沖縄県那覇市字真嘉比252-40　沖縄納税研修会館
電話（098）886-4010（代）　FAX（098）886-1205

共済制度の運営機関
中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小企業基盤整備機構
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3−5−1 虎ノ門37森ビル
共済相談室　TEL 050-5541-7171
URL http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html

納貯組合ニュース

北那覇青色申告納税貯蓄組合

平成二十四年度 中学生の 税についての作文

全国納税貯蓄組合連合会が主催しております「中学生の税についての作文」の入選作文の決定がなされ、北那覇納税貯蓄組合での上位入選作品をご紹介致します。

☆全国納税貯蓄組合連合会会長賞

「安心できる未来を願って」

浦西中学校三年一組四番　比嘉麻衣子



何気なく観ていたテレビ番組で、日本の借金が平成二十四年までに七百九兆円もあることを知った。

「国の借金？」これと言って不自由することなく暮らしている今、私はそのことが全くピンと来なかった。現に食べたいものが食べられ、買いたいものだってある程度のものだったら買うことができる。病気やケガの時だって保険証があれば診てもらえる。世界に誇れる大きな会社や有名メーカーがあって、国民総生産だっていつも上位にある日本だからそんな暮らしは当たり前だと思っていた。毎日の暮らしの細かいところまでが税金で成り立っていることを考えたことすらなかった。予算で足りない分を国は国債を発行することで補っている。これが国の借金なのである。なぜ借金をする必要があるのだろう。またどうしてこんなにまで借金が膨らんだのだろう。そのことを母に話すと「簡単なことだよ。収入と支出のバランスが悪いから。」また、病院の領収書を私に見せて「負担割合の欄に三割って記されているでしょう。これは窓口で自分が支払う分で残りは国や市町村が負担してくれているんだよ。だから、病院にかかる人や回数が増えれば増える程、国や市町村の負担も増えていくの。まかなえる財源がたくさんあればいいけれど、今は支出がそれを超えてしまっているのが現状なんだよ。」と教えてくれた。私は領収書の金額を単純に計算してみた。「もし、これを全額毎回自分で支払うとしたら・・・。」そう考えると日本の医療制度は本当にありがたいと思った。それがもっと高額ならなおさらだと思う。

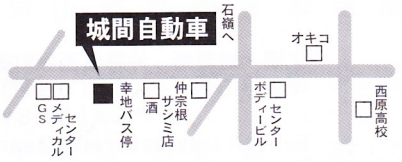
しかし、このところの不景気で保険料を納められなかったり、高齢化で医療を必要とする人がますます増え、母の言った収入と支出のバランスも悪くなっている。このままどんどん借金が膨らんでいくと、やがて日本の医療も立ち行かなくなってしまうかもしれない。そうなると、本当に医療保険を受けるべき人が受けられなくなって、尊い命を失ってしまう。

私達は、支出を増やしてしまう何か無駄なことをしてはいないだろうか。お互いの相互扶助で成り立っている医療保険、納めるべき人が納めるべき税金をきちんと納めているだろうか。

医療費などの社会保障だけが国の借金を増やしているわけではないと思うが、その他の問題も見直され、私達一人ひとりがもっと国の借金に関心を持ち、国の借金は自分達の借金なのだという意識を持てれば、この現状を打破し、皆が安心できる暮らしを作り出せると思う。これから私も豊かな未来を作り出していけるように、きちんと税金を納め、正しく使える大人になりたい。そのためにも、税金の意味について考えていきたいと思う。

平成24年度　応募状況

組合名	学校数	作品数
北那覇	24	2,795
那覇	29	2,142
沖縄中部	29	3,098
北部	15	443
宮古	12	225
八重山	16	331
計	125	9,034

三菱・ダイハツ・スズキ協力店
城間自動車
西原町字幸地654－2
〒903-0116 944-3939
サンキューサンキュー
中古車販売
新車販売
車検整備
鈑金塗装
保険業務


NPO法人
国際空手道連盟　極真会館沖縄県支部
極真空手浦添道場
責任者 宮城健志
〒901-2121 沖縄県浦添市内間4-18-7 3F
TEL・FAX 098-879-8555
KYOKUSHIN-KAIKAN OKINAWA BRANCH

☆全国納税貯蓄組合連合会会長賞

「家族をつなぐ一括交付金」

沖縄県那覇市立　石嶺中学校　三年三組　比嘉祐一



僕が中学二年の三月に父が仕事の転勤で石垣島に単身赴任しました。これまでに何度も家族で引っ越しや転校を繰り返してきました。しかし、僕が中学三年に進級し、受験生にとって学校や生活環境の変化は良くないと考え、家族全員で引っ越しせず、単身赴任しました。

まず、石垣島は沖縄県ですが、海を隔てた大変遠い島です。だから、父とはなかなか会えないと思い、寂しい気持ちでいっぱいでした。飛行機に乗ると、わずか三十五分ですが、那覇・石垣間の航空運賃はとても高いのです。大人の往復運賃が四万千円します。春休みに入っていたので、父の新生活の手伝いに行きたかったのですが、僕たちの航空運賃は全額負担となり、約十一万円もします。その金額は家計を圧迫するので母一人で手伝いに行きました。

そして四月になり、朝新聞に目を通していると、沖縄タイムス四月十日の新聞にうれしい記事が載っていました。それは、沖縄県が離島の定住条件の整備などを目的に、離島住民や離島出身の高校生を対象に、沖縄振興交付金（一括交付金）を活用して本年度からスタートした「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」です。実施前の運賃に比べ、約40％も低減される事業でした。

早速父に電話すると、石垣島でも大きな話題となり、職場の全員で「離島運賃額引カード」を申し込んだとうれしそうに言いました。

県が一括交付金で高額な離島航空運賃を負担してくれたおかげで、大人往復運賃約二万円と安くなり、父が帰省しやすくなりました。

僕は、これまで税金の使い道は道路や公園などに使う土木費、予防接種などの衛生費など公共なものだけだと思っていました。しかし、父の転勤によって「一括交付金」から、税金の使い道を初めて身近に感じました。

そして、この制度と税金のおかげで父が五月の連休に帰省しました。久しぶりに会う父の元気な姿や、うれしそうな母や妹の笑顔に一家団らんの幸せと税金の大切さを改めて感じました。

県交通政策課は、「沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減事業」を来年度以降も継続するよう取り組むそうです。たくさんの人が税金を収めることによって、この事業がこれからも継続していくのだと分かりました。僕が税金を納めている人々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

一括交付金は、僕たち家族やたくさんの人々をつなぐやさしさの掛け橋です。

☆沖縄国税事務所所長賞

「税金の大切な訳」

安岡中学校　三年三組　金城宏河



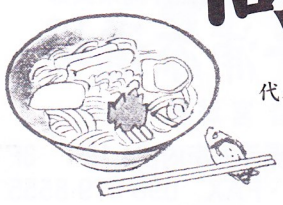
サッカーの大会前の練習中のことです。僕は白熱した練習で転倒しケガをしてしまいました。ぶつかった衝撃で記憶がとんで気が付いたのは、救急車で搬送されている時でした。どのように運ばれたのか、分からない僕に部活の顧問の先生が救急車を呼び、早急に病院に搬送してくれたことを伝えてくれました。生まれて初めて乗りましたが、もし救急車がなかったら応急処置をしながら身体の大きな僕を抱き抱え、車に乗せ病院まで連れて行くのに、もの凄い時間がかかったことでしょう僕は心配して早急に判断し、救急車を呼んでくれた先生や友人達に感謝しながら助けて下さった救急隊員の方に心の中でお礼を言いました。

それから、元気に回復し退院できた僕は、母に、「ケガをして沢山のお金がかかってしまったね、ごめんなさい。」と、話すと、「救急車は税で支給されるし、元気がなにより、心配しないでいいよ。」と、優しく笑顔で話してくれました。

これまで、税金の使い道に関して漠然とは分かっているつもりでしたが、公共のものを利用の権利を受けて、救われたと実感したことは初めてでした。ケガをしてい初めて、社会生活への関心度の低さ、税の仕組み、使われ方に関して自分の勉強不足を痛感するとともに、給料から税金を払い、支えあえる国をつくろうと頑張っていてくれる大人は凄いなと思いました。その経験をきっかけに僕は税の事について考え調べてみることにしました。

国税省のホームページを調べてみると、税は「社会で生活していく人の会費」であり、豊かな生活を送るための国や、地方公共団が活動を行う財源と書いてありました。もし、税金がなかったら救急車や医療費が全て自己負担、ごみ収集車、交番までもが有料になり負担が大きく、安心して暮らしていくことが出来なくなり困ってしまいます。今回僕が利用させてもらった救急車も、税金として集められた皆の気持ちとして受け止めなければいけないと思いました。しかしその一方で、時々ニュースで必要性の低い中での救急車の利用や、施設路建設も報じられています。これは、大切な給料から税金を納めている人へのひどい行為にあたります。税金を納める一人ひとりの気持ちになって、使い道を慎重に考えて利用していかなければならないと感じます。今も沢山の問題が山積みですが、僕は「税をとられている」という意識ではなく国民一人ひとりが支えるという意識で損か得かを考えるのではなく、国の未来を考えてスクラムを組み明るい国づくりを目指す事が一番大切な事なんだなとわかりました。

僕が大人になったら一生懸命働いて、国の一人として、しっかり税金を納め豊かな国づくりの担い手になりたいと思います。

沖縄そば
高江洲

代表者　高江洲　清仁
☎878-4201
〒901-2132　沖縄県浦添市伊祖3-36-2

有限会社 あづま冷凍機
産業廃棄物収集運搬　144571
冷媒回収事業所　470043
代表取締役　東　直行
工場・営業所　沖縄県西原町徳佐田38番地1号
〒903-0127　TEL（098）944-5674
FAX（098）835-8844
E-mail：azuma-reito@samba.ocn.ne.jp

印刷用紙・包装用紙・コピー用紙
㋐ 合資会社 安謝紙商会
代表取締役 照屋清助
〒900−0002（本店）沖縄県那覇市曙２丁目９番１９号
電話（098）861−0077
〒900−0002（支店）沖縄県那覇市曙２丁目８番２７号
電話（098）861−2101　FAX（098）866−5848

民間車検工場
あいおいニッセイ同和まごころ工場
車検・点検＜沖指 第388号＞
一般整備・鈑金
焼付塗装・その他
稲嶺整備センター
代表者 稲嶺盛方
〒901-2134　沖縄県浦添市港川512-26　TEL 878-6871　FAX 879-0912

武徳　継続　忍耐
儀保空手道場
範士九段 儀保宜裕
沖縄県空手道
古武道 小林流
翔武館総本部

塗料の総合百貨店
㋗ 株式会社 儀保ペイント商会
代表取締役　儀保宜裕

大阪名物
でかうまたこやき
きぼたこ
経営者　具志堅育子
〒901-2121　沖縄県浦添市内間３丁目20番１号
TEL/098-877-2672　http://gibopaint.com

南星電気工事社

電気工事・設計・見積・施工・ナショナル住宅設備機器販売・エアコン
冷蔵庫・洗濯機・電気温水器販売・PHS（電話）・パーソナルハンディホン販売

代表者　新　本　乗　義

事務所　〒902-0062　那覇市松川2丁目7-14（指帰橋際）電話（098）832-5287
ファックス（098）855-5209

会員の皆様には、割引特典がついております。



営業時間 AM.11:00～PM.8:00（水曜日定休）

ブライダルリング専門店

Diamond Artist Ms'［エムズ］
ダイヤモンドアーティスト

那覇新都心本店　〒900-0005 沖縄県那覇市天久１丁目28番26号
TEL：098-861-5554　FAX：098-861-6717
http://www.ms-ring.com



人間力を充実　　学力を充実

怖れず　侮らず　気負わず

SIBA
SHOGAKUIN INTERNATIONAL BUSINESS ACADEMY
専修学校 尚学院国際ビジネスアカデミー
0120-61-3515

高校生課程・大学受験科
尚学院
那覇尚学院867-3515　沖縄尚学院932-3512

尚学院
小・中学部
SHOGAKU JPS Junior Prep School
那覇教室 863-3684　沖縄教室 930-6000
仲井真教室 836-9541　沖尚前教室 836-2970
小禄教室 857-3055

学院長 名城政次郎　　副学院長 名城政一郎

学校法人尚学学園
沖縄尚学高等学校
沖縄尚学高校附属中学校
〒902-0075 那覇市国場747 ☎832-1767・☎853-1579

理事長・高等学校長　名城　政次郎　　副理事長・中学校校長　名城　政一郎

たくましい進学校を
めざして邁進します